

令和5年度 認知症施策の取り組みについて

北名古屋市東部地域包括支援センター

内容
<ul style="list-style-type: none">・ 認知症カフェ（すまいるカフェ） 年6回開催（偶数月 第4木曜日） 圏域内のカフェと協働で認知症の方や支援者が集える場を設けた。 医師や通所介護の職員も参加し専門職の意見が聞ける場とした。・ おれんじスペース登録啓発 圏域の店舗や事業所へ登録を呼びかけ、同時に認知症サポーター養成講座の受講を推進した。認知症の人や家族が安心して地域で暮らせる街になるよう登録啓発に努めた。・ 認知症予防の啓発 認知症予防講座の開催、健康相談会やアルツハイマーデーに開催したイベントの中で「物忘れ相談プログラム」を体験いただくなど、認知症の早期発見や認知症への理解を深める機会を設けた。
成果
<ul style="list-style-type: none">・ 認知症の方や家族と交流することで、課題や要望が把握できた。・ 家族同士の交流や専門職への相談ができ、参加者の負担軽減を図ることができた。・ 地域を回することで、地域資源の把握ができた。・ 認知症啓発事業に対する市民の認識の薄さに気付いた。・ 16件の店舗が新たにおれんじスペースに登録された。（令和6年2月1日現在）